



海上保安制度創設70周年



平成30年8月23日

第十管区海上保安本部

海図でみる明治維新150年と鹿児島

～第147回水路記念日パネル展を開催します～

147年前の明治4年9月12日、我が国初の海図作製機関である兵部省海軍部水路局が発足し、この日を「水路記念日」としています。

第十管区海上保安本部は、水路記念日にあわせ、鹿児島市立科学館において、江戸時代の伊能図や明治から現在まで鹿児島の海図を展示します。

海図から読みとれる明治維新後150年の鹿児島の発展をご覧ください。

1 開催日時

平成30年9月5日（水）～9月10日（月）

午前9時30分から午後6時まで

2 場所

鹿児島市立科学館 2階エントランスホール（見学無料）

所在地：鹿児島市鴨池2丁目31-18

電話：099-250-8511

3 展示内容

（1）明治から現在までの鹿児島港及び鹿児島湾などの海図

（2）伊能図（模写図）

（3）3D海底地形図

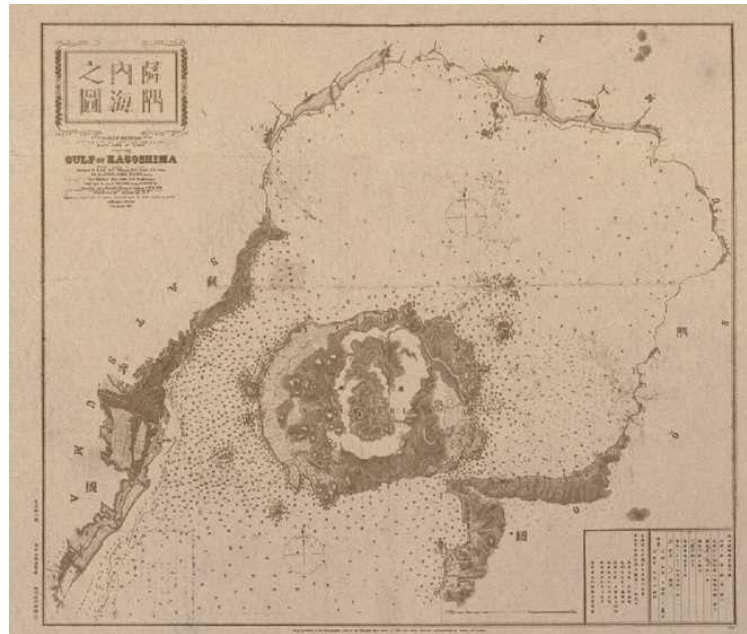
9月8日（土）及び9月9日（日）は第十管区海上保安本部職員が展示物の説明を行います。

4 その他

取材の申し込みにつきましては第十管区海上保安本部海洋情報部監理課までお知らせください。

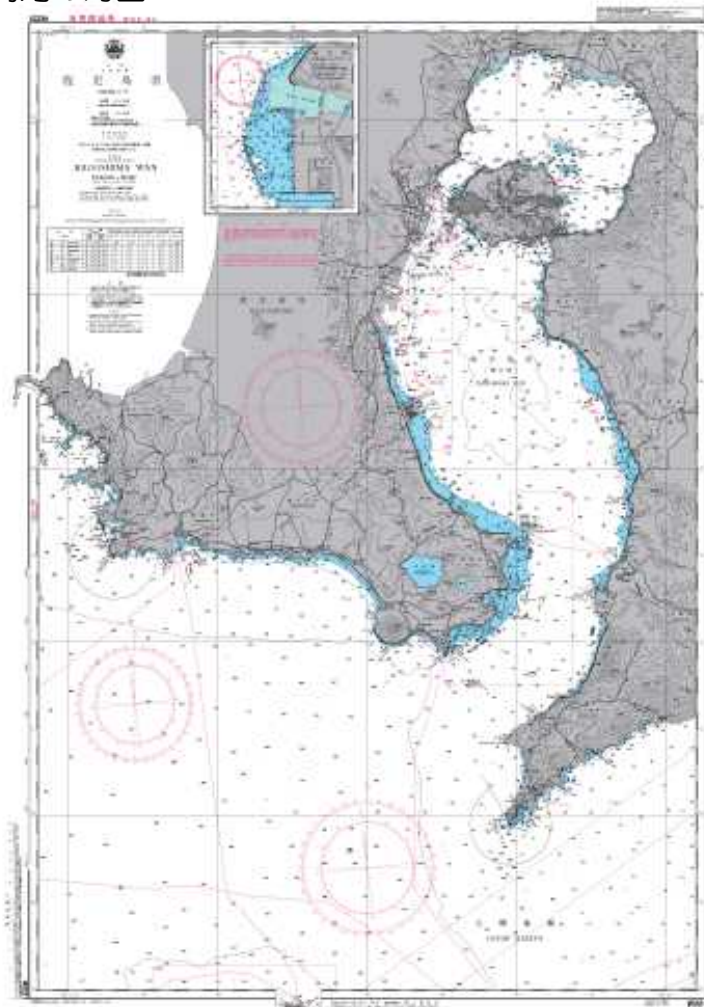
展示物の例

明治初期に作製された鹿児島湾北部の海図



(明治時代の海岸の様子が詳細に描かれています。大正噴火（大正3年）前、桜島は陸とつながっていませんでした。)

現在の鹿児島湾の海図



(鹿児島港の拡大や喜入港の大型石油備蓄基地の整備など鹿児島湾の発展状況がわかります)